

高齢歩行者の交通事故実態 ～高齢歩行者の交通死亡事故を防止するために～



令和5年8月22日
北海道警察本部交通企画課

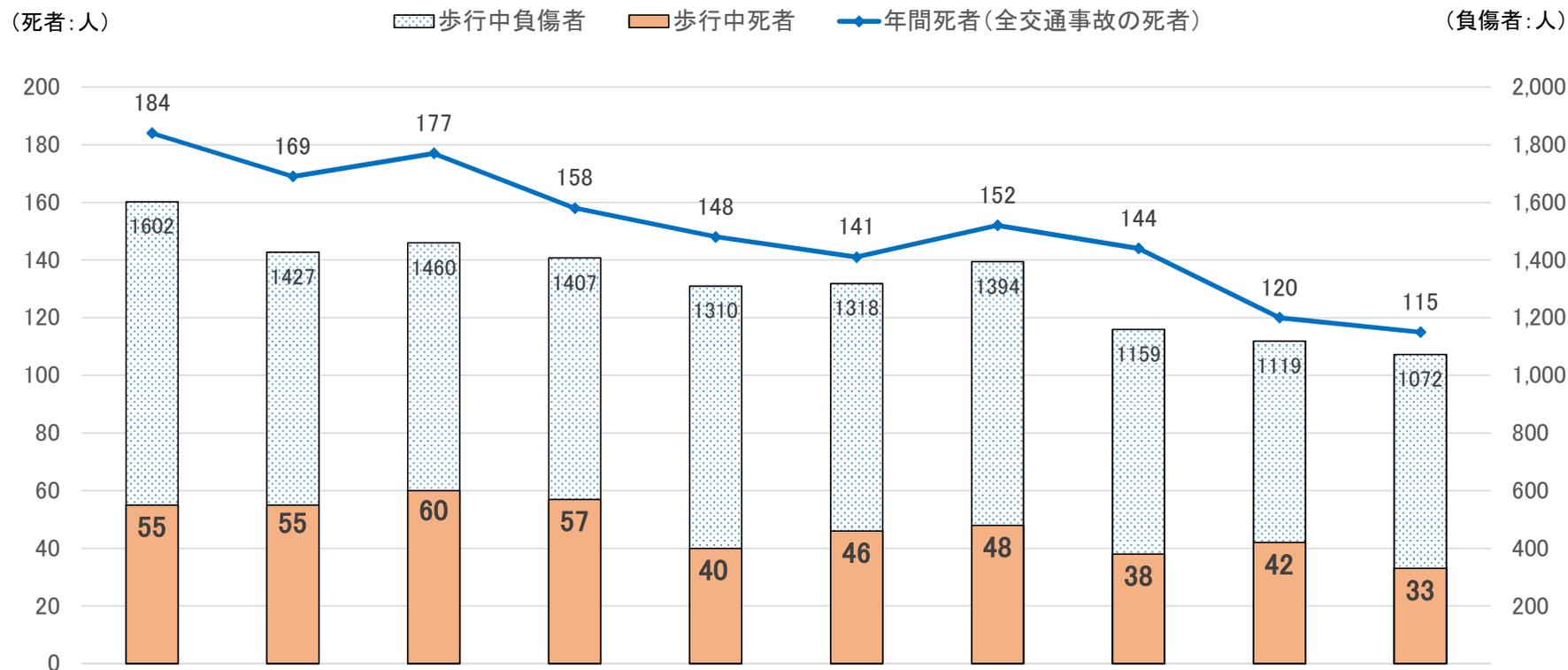
〈目次〉

- 1 歩行者（全年齢）の交通事故死傷者年別推移
- 2 年齢層別歩行者の死傷者（過去5年累計）
- 3 高齢歩行者の年別死傷者推移
- 4 高齢歩行者の発生月別死傷者（過去5年累計）
- 5 高齢歩行者の曜日別死傷者（過去5年累計）
- 6 高齢歩行者の時間別死傷者（過去5年累計）
- 7 高齢歩行者の事故類型別死傷者（過去5年累計）
- 8 高齢歩行者の法令違反別死者（過去5年累計）
- 9 横断歩道のない単路横断中の横断方向別高齢歩行中死者（過去5年累計）
- 10 交通事故遭遇時の年齢層別死亡・重傷・軽傷率（歩行者：過去5年累計）
- 11 高齢歩行者の通行目的別死傷者（過去5年累計）
- 12 買物目的の高齢歩行者の発生時間別死傷者（過去5年累計）

※「高齢歩行者」とは、65歳以上の者をいう。

1 歩行者(全年齢)の交通事故死傷者年別推移

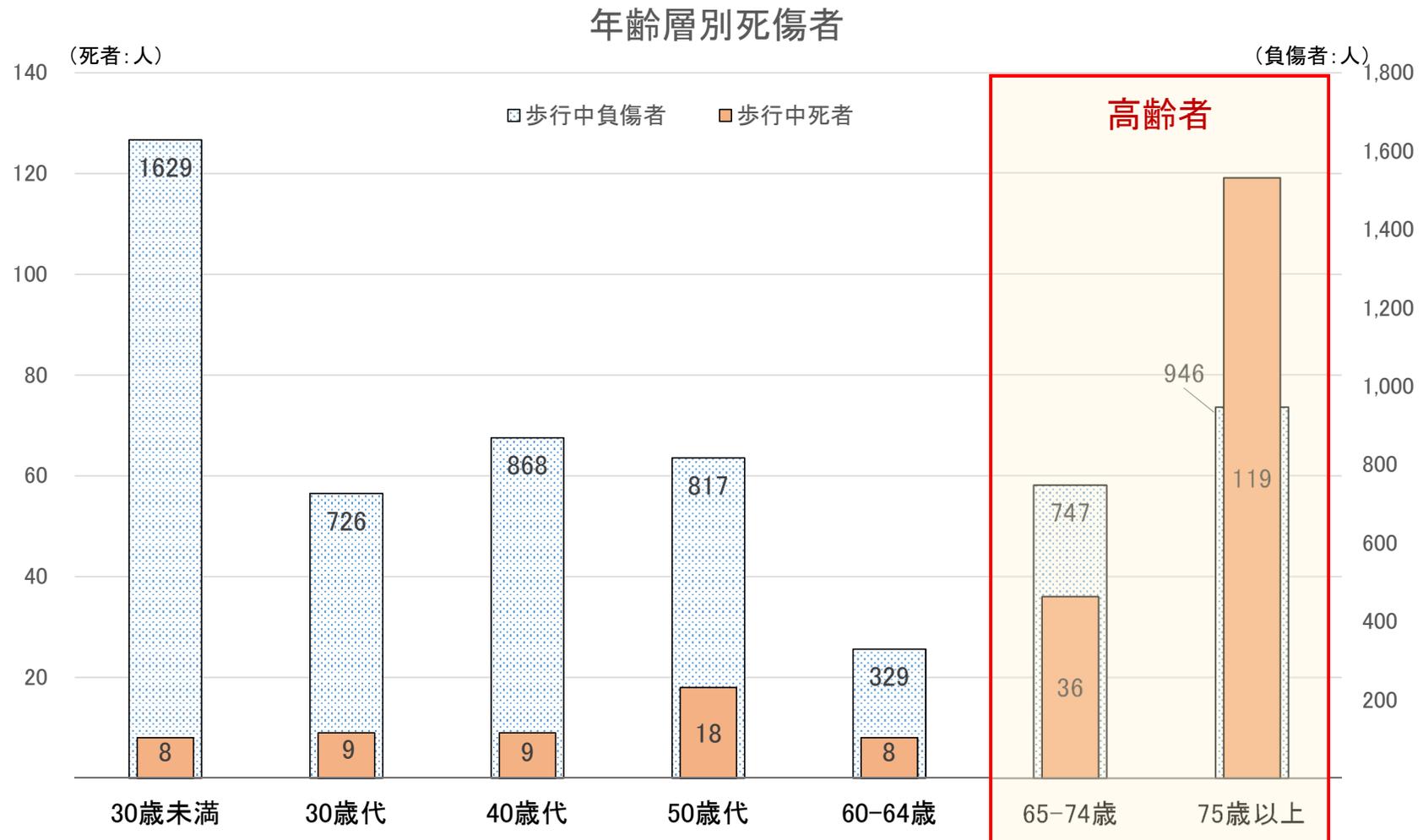
歩行者死傷者(全年齢)の年別推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
歩行中死者	55	55	60	57	40	46	48	38	42	33
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115
構成率	29.9%	32.5%	33.9%	36.1%	27.0%	32.6%	31.6%	26.4%	35.0%	28.7%

交通事故による年間死者は減少傾向で推移しているが、年間死者に占める歩行者構成率は概ね横ばいで推移している。

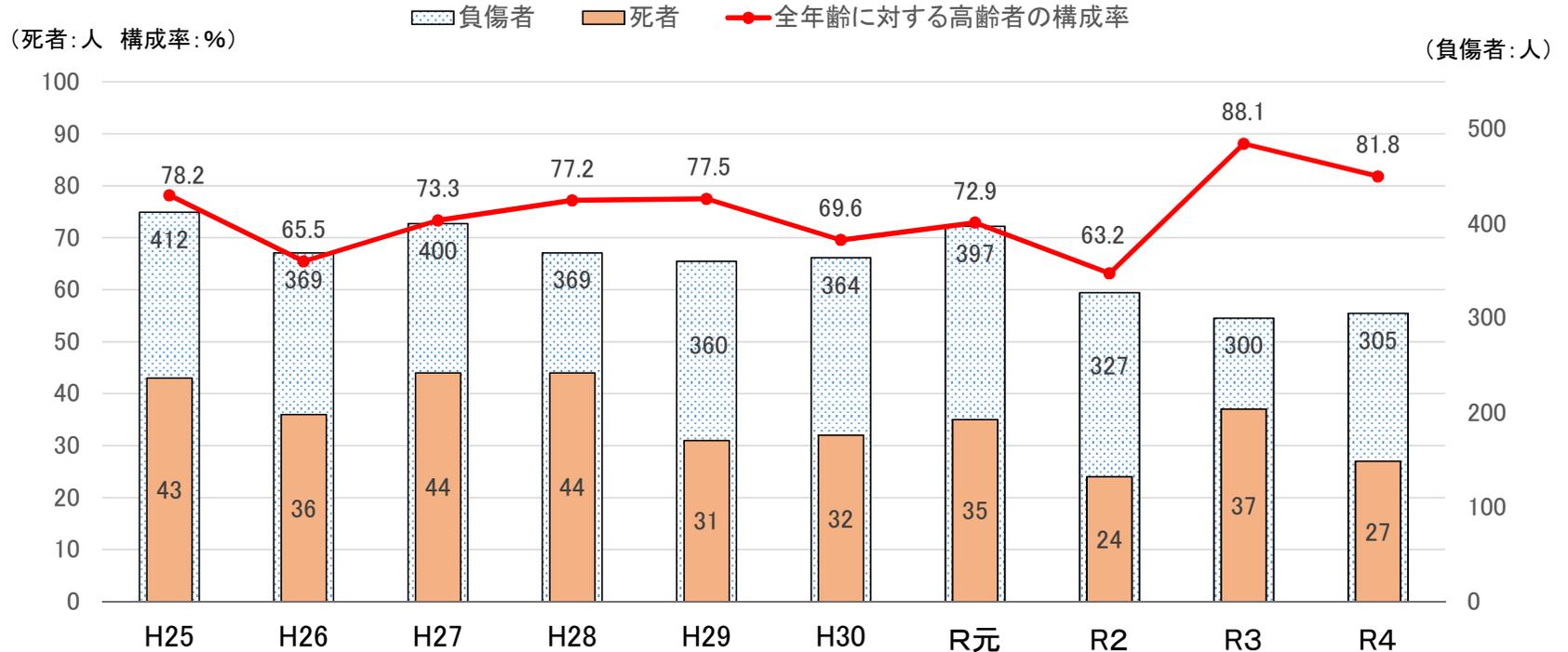
2 年齢層別歩行者の死傷者(過去5年累計)



負傷者は30歳未満の若年歩行者が突出して多いが、死者は高齢者が突出して多く、高齢者のうち、75歳以上の後期高齢者の死者が特に多い。

3 高齢歩行者の年別死傷者推移

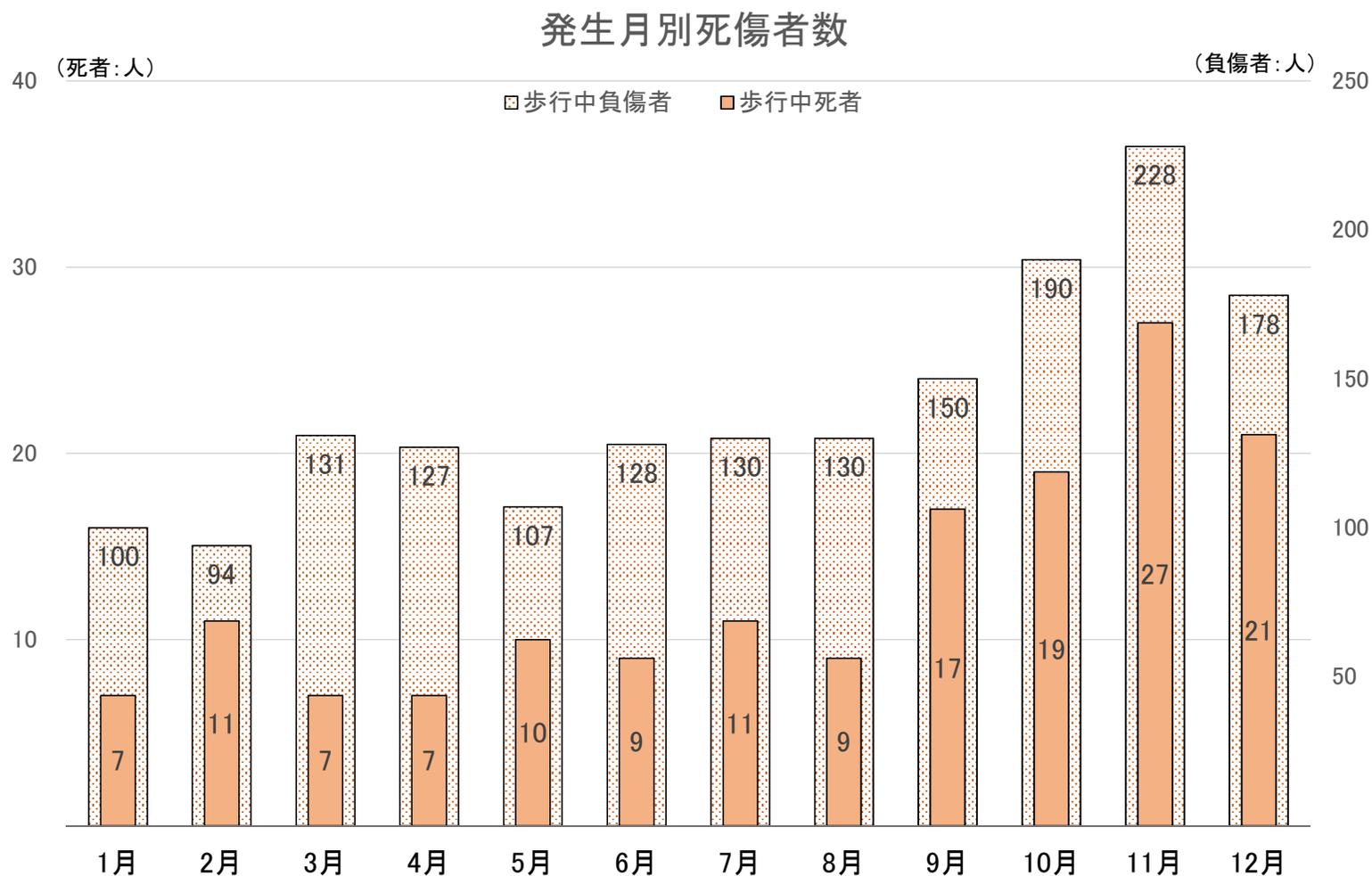
高齢歩行者の年別死傷者構成率推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
高齢歩行中死者	43	36	44	44	31	32	35	24	37	27
歩行中死者(全年齢)	55	55	60	57	40	46	48	38	42	33
全年齢に対する 高齢者の構成率	78.2%	65.5%	73.3%	77.2%	77.5%	69.6%	72.9%	63.2%	88.1%	81.8%
〈参考〉 年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115

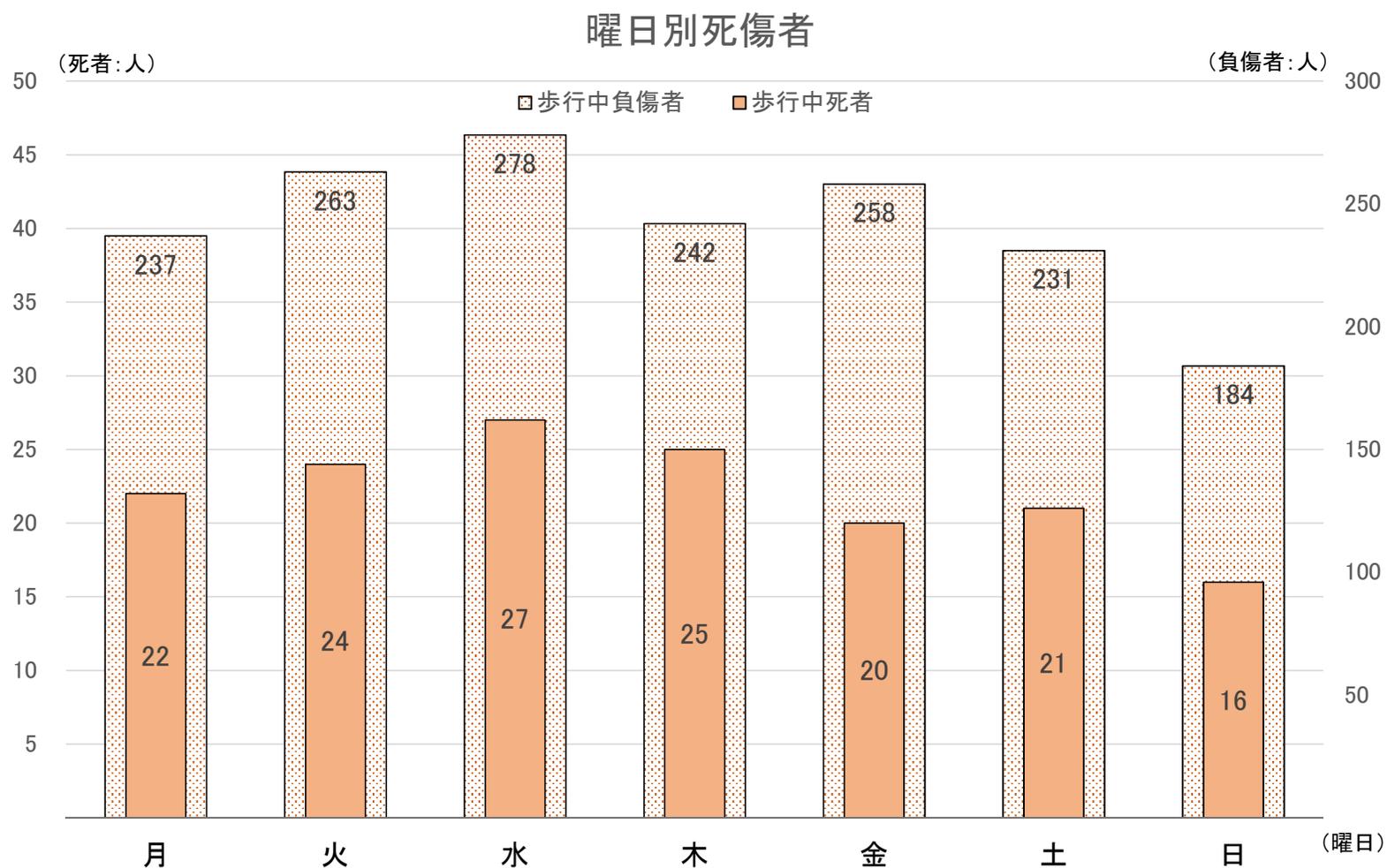
高齢歩行中死者は増減を繰り返しながら、減少傾向で推移している。
一方、歩行中死者(全年齢)に対する高齢歩行中死者の構成率を見ると、各年6割以上の高水準で推移している。

4 高齢歩行者の発生月別死傷者(過去5年累計)



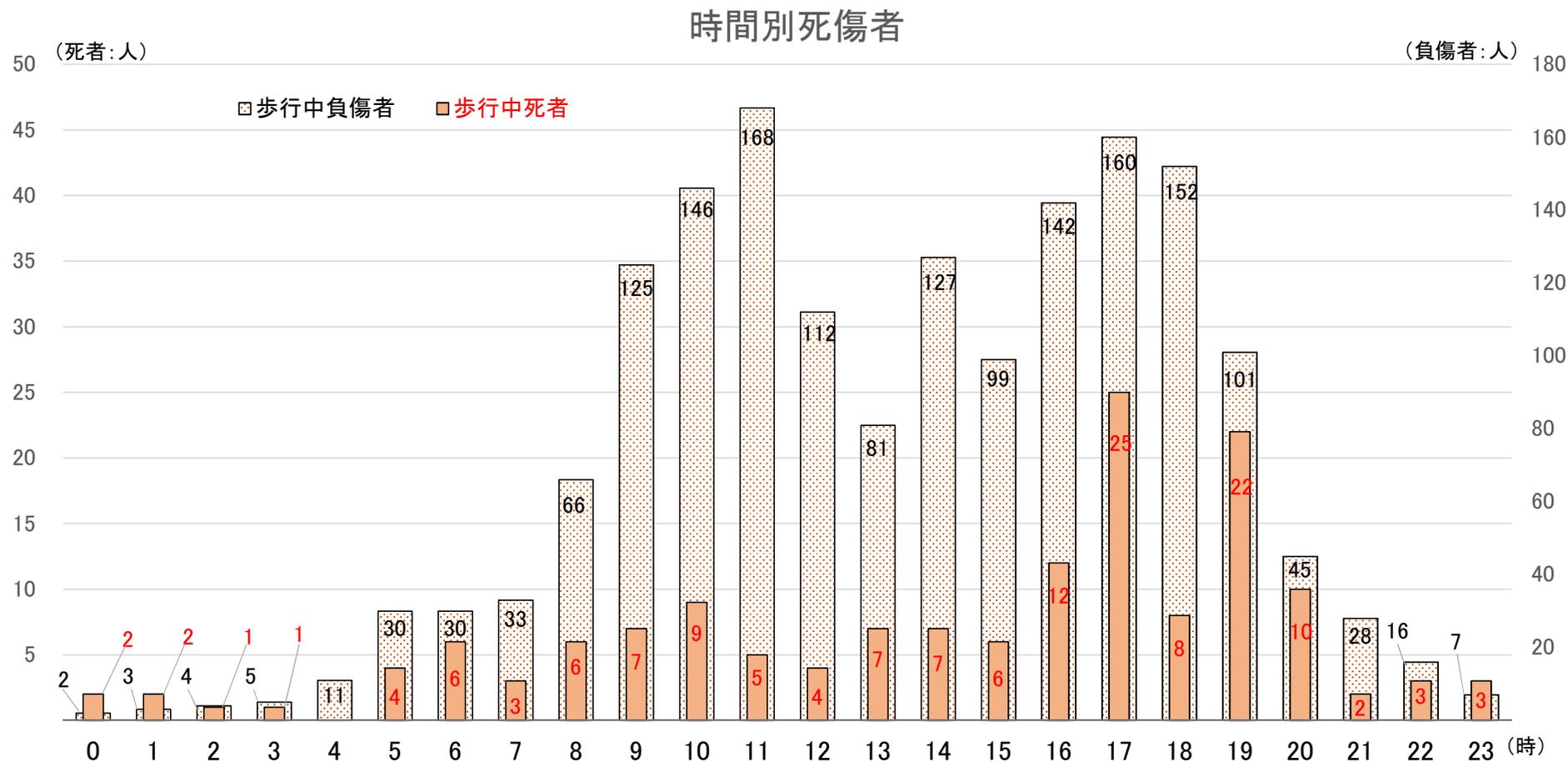
発生月別で見ると、高齢歩行者の負傷者及び死傷者は9月以降増加し、11月がピークとなる。

5 高齢歩行者の曜日別死傷者(過去5年累計)



曜日別で見ると、歩行者負傷者、歩行中死者ともに水曜日が最も多い。

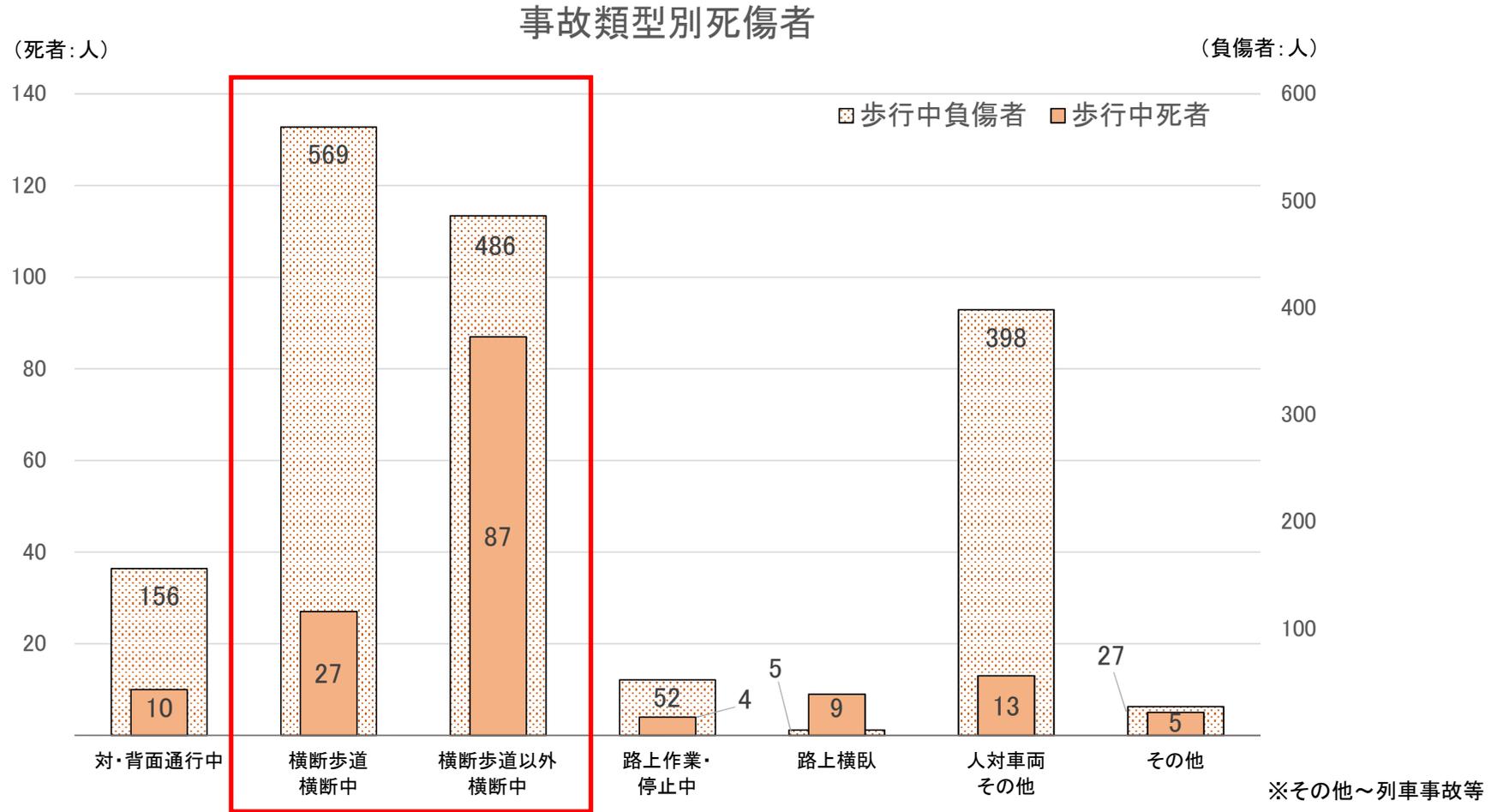
6 高齢歩行者の時間別死傷者(過去5年累計)



時間別で見ると、高齢歩行中の死者は17時台が最も多く、次いで19時台が多い。

高齢歩行中の負傷者を見ると、9時台から11時台にかけて増加し、その後一旦減少するが、16時台から18時台にかけて再び増加し、その後減少していく。

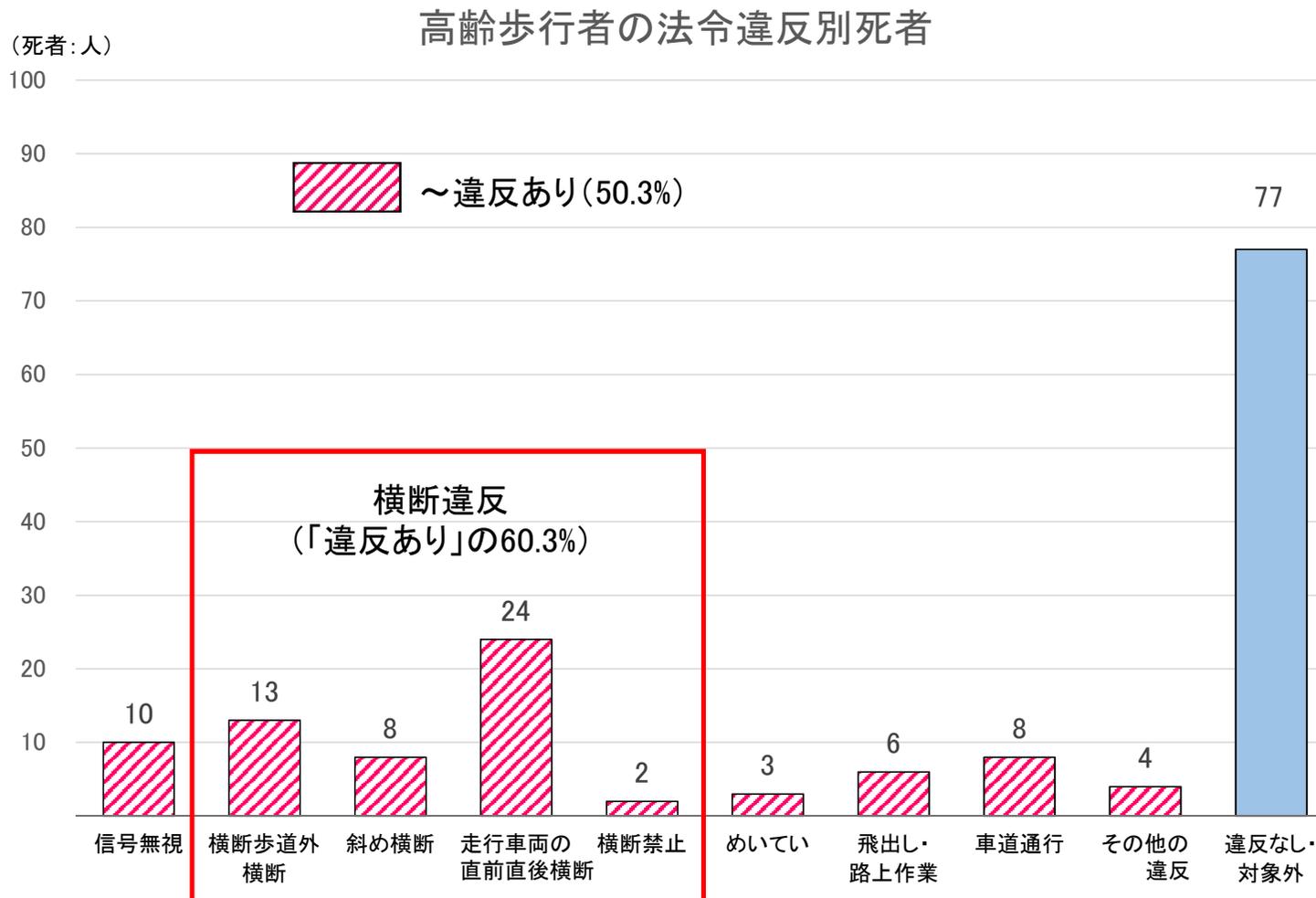
7 高齢歩行者の事故類型別死傷者(過去5年累計)



歩行中の死者では「横断歩道以外横断中」が87人と最も多く、死者全体の約6割を占める。

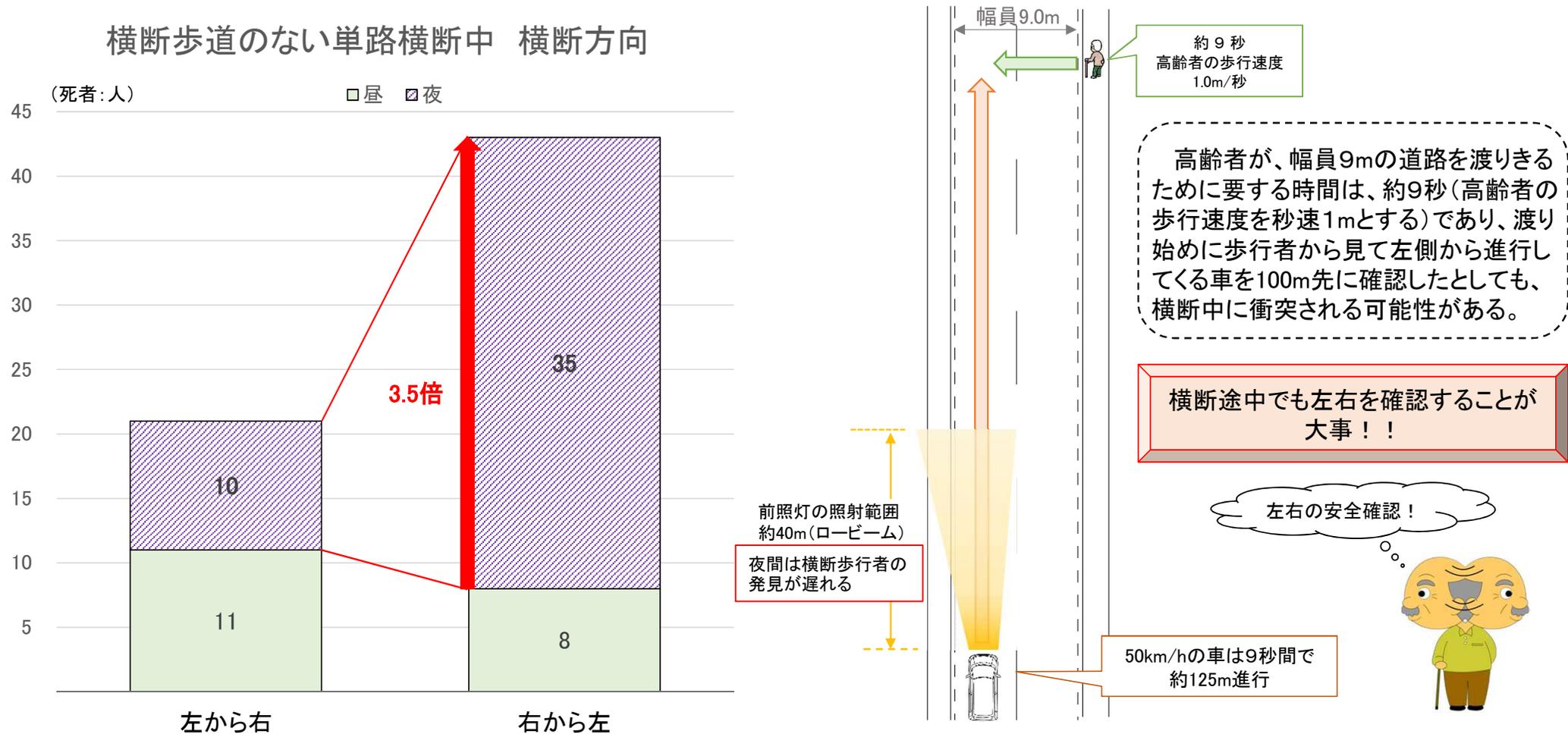
歩行中の負傷者では「横断歩道横断中」が569人と最も多く、「横断歩道以外横断中」と合わせると、道路横断中に交通事故に遭う歩行者が全体の6割以上を占める。

8 高齢歩行者の法令違反別死者(過去5年累計)



高齢歩行中死者の5割以上に法令違反が認められる。
法令違反のうち、横断違反(道路横断時の違反)が6割以上を占めている。

9 横断歩道のない単路横断中の横断方向別高齢歩行中死者(過去5年累計)



横断歩道のない単路横断中の高齢歩行中死者のうち、車両の運転者から見て「右から左に横断中」が約7割を占め、特に夜間は「右から左に横断中」が顕著で「左から右に横断中」の3.5倍となる。

※ 「単路横断中」は、道路を横断する歩行者が保護されるべき場所である、「交差点及び横断歩道を横断中」以外をいい、単路(カーブ含む)及び交差点付近(交差点から概ね30m以内の範囲を含む場所)を横断中のもの。

なぜ高齢者の死者が多いのか。

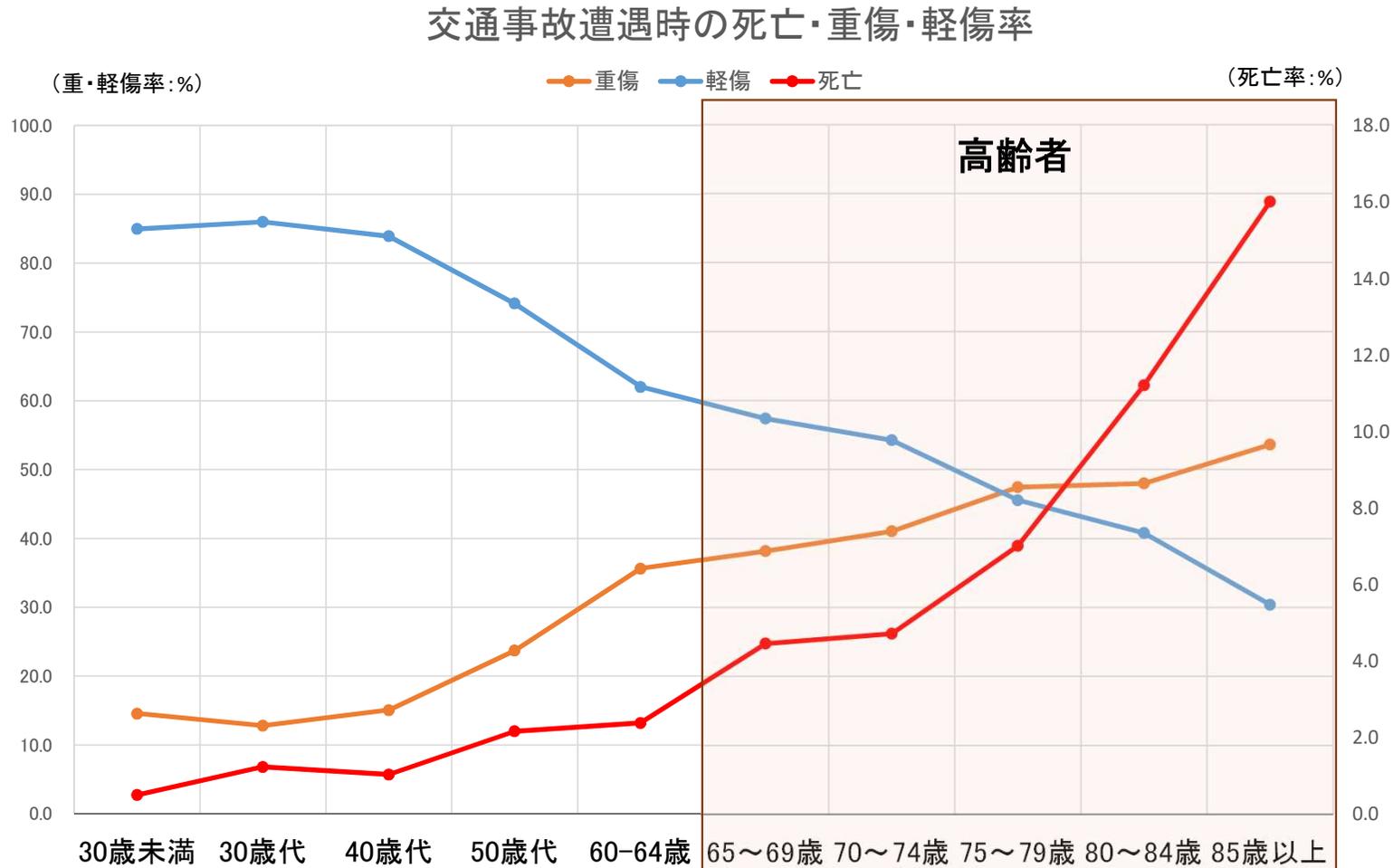
加齢に伴い、身体機能や認知機能などが低下する。

危険を察知し瞬時に行動することができにくくなる。

- ・ 身体機能の低下に伴う歩行速度の低下
- ・ 周囲の状況に対する、認識・判断能力の低下（認知機能の低下）
- ・ 交通事故の危険を認識しても、咄嗟に退避行動を取ることができない
- ・ 治癒能力の低下（死に至るリスクが高い）

など・・・

10 交通事故遭遇時の年齢層別死亡・重傷・軽傷率(歩行者:過去5年累計)



「死亡・重傷・軽傷率」とは、各年齢層における、死者数・重傷者数・軽傷者数を死傷者数で除したもの(%)。
年齢が上がるにつれ、軽傷率が減少し、**死亡率・重傷率**が上昇する。
(事故に遭うと死亡する確率が高くなる。)

年齢が上がるにつれて、死亡率・重傷率が上昇する。

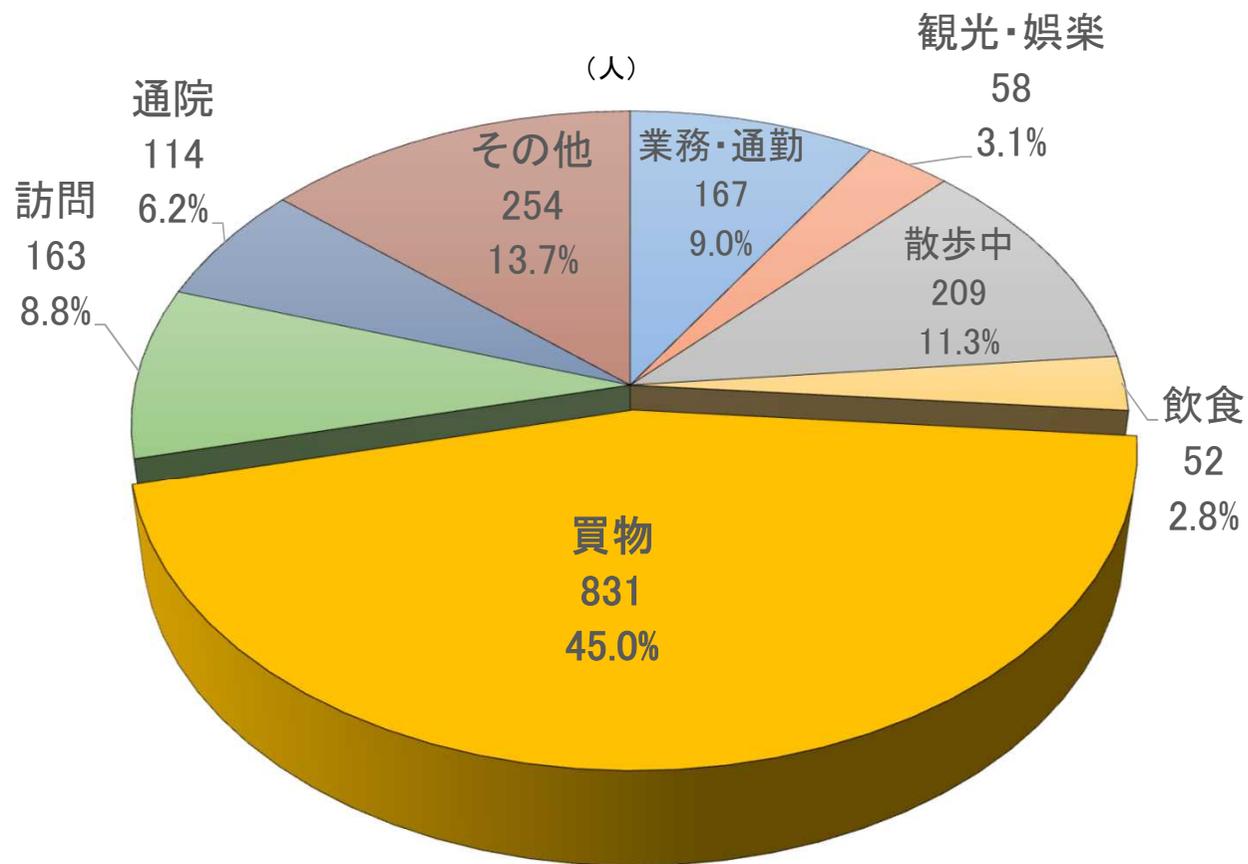
高齢者が交通事故に遭遇した場合、

死亡するリスクが高い

と言える。

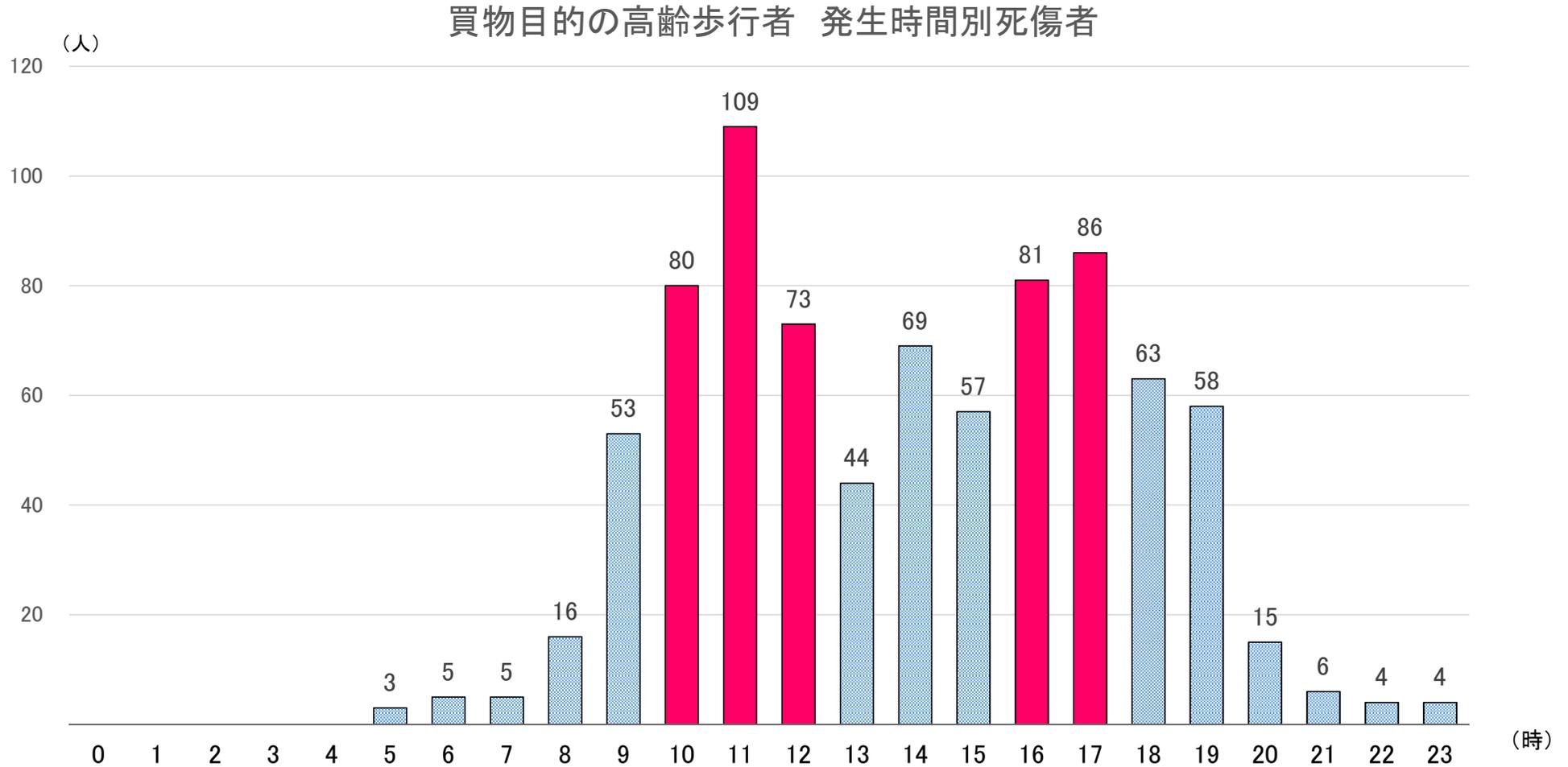
より、交通事故に遭わないよう注意しなければならない。

11 高齢歩行者の通行目的別死傷者(過去5年累計)



買物(買物帰り含む。)が4割以上を占めている。

12 買物目的の高齢歩行者の発生時間別死傷者(過去5年累計)



買物目的の高齢歩行中死傷者は、10時から12時及び16時から17時の間に多く発生している。

高齢歩行者が交通事故に遭わないために・・・

高齢者は買物の際に交通事故に遭うことが多い。

行動者率の高い午前(10時前～12時ころまでの間)と、行動者率が高く、日没時間帯と重なる午後(16時～17時ころまでの間)～夜間が要注意時間帯

ドライバーの皆さんは、スピードダウンと安全確認を徹底し、夜間は対向車や先行車がない場合は、ハイビームを活用しましょう。

高齢歩行者の皆さんは、横断歩道を利用するなど、正しく、安全な横断方法をとり、夕暮れ・夜間は反射材を着用しましょう。



反射材を着けましょう!

参考

高齢者の特徴（見え方、聞こえ方の変化）

◎ 目の見え方が変わる

視力が低下し、黄色・褐色がかった色彩に見える

若年者の見え方



高齢者（80歳）の見え方



◎ 耳の聞こえ方が変わる

音がこもって聞こえるため車が近づいても察知しにくい

参考

交通事故防止映像紹介



～ 光と闇の危険！！ ～

北海道警察ホームページ、YouTube北海道警察公式チャンネルに掲載しています！

北海道警察ホームページ



Hokkaido Prefectural Police
北海道警察

採用情報

Foreign Language

バリアフリー

サイト内検索ボタン



YouTube



北海道警察公式チャンネル